



「食べちゃった！」

さくら組さんは、昔話『三枚のお札』が大好き。
「お豆になったやまんばを、おもちにはさんでパクン！」の終わりの場面が大好き！
ある日、給食でパンを食べていたMちゃん。
Mちゃん『やまんばさんをパンにはさんでパクン！』
『モグモグモグ』と食べちゃった。
保育士 『あれ！やまんばさんを食べちゃったの？』
(子どもの想像力ってすごいですね。)

平成22年度明るい選挙啓発標語入賞者

最優秀賞

小関 麻誉 (東中1年)
「選挙権 無だにするなど 子どもの目」

優秀賞

齋藤 蓮 (荒砥小1年)
「ぼく、わたし 夢をつないで この一票」
梅津 若夏 (荒砥小5年)
「いっぴょうように たくすみらいの よいくらし」
芳賀 舞 (東中1年)
「人のため 自分のために 一票を」
橋本 美穂 (東中2年)
「届けたい みんなの思い 1票に」
齋藤 瑞季 (西中3年)
「意志を持ち 投票箱へ 一直線」
菊地 康紘 (荒砥高3年)
「この一票一人一人が 社会の主演」

入選

●小学校の部
今野正太郎 (蚕桑小3年) 梅津 宏紀 (東中1年)
赤間 英生 (蚕桑小3年) 船山 千帆 (西中2年)
小谷部恵美加 (蚕桑小3年) 伊藤 茅春 (西中2年)
青木 悠生 (荒砥小3年) 齋藤 花歩 (東中2年)
大嶋 悠太 (蚕桑小5年) 赤間 千春 (西中3年)
佐藤 美空 (鷹山小5年) 江見 僚太 (西中3年)
鈴木 彩菜 (鮎貝小6年) 熊谷 将貴 (東中3年)
橋本 直弥 (荒砥小6年) 海老名名繩子 (東中3年)

●高校の部
梅津 香穂 (東中1年) 青木 那奈 (荒砥高1年)
小関 忠寛 (東中1年) 塚本 雄大 (荒砥高1年)
迎田 峻真 (東中1年) 菅原 美優 (荒砥高1年)
井上 真一 (荒砥高2年)

町報川柳

「隣」

高橋 白兔 選

佳作 隣組みんな仲良くたすけ合い
独り者隣の夕餉喰いで食べ
隣町この頃遠くなりました
寝坊して隣の牛に起こされる
離れ住む子より大事な隣組
お隣の事ならお聞き地獄耳
声高に隣同志の雪おろし
となり組今じゃ遠くになりました
産声のとなり母の眼差しが
お隣は改築笑顔四世代
緊急時主役は隣きずなです
何があっても一番大事な隣組
隣の児娘になって来なくなり
防災も隣近所の声がけで
Uターン改めて知る近隣愛
回覧を隣に廻し話し込む
遠い親戚よりも頼れる隣組
聞き耳は立てず平和な両隣
隣組昔の和み遠くなる
お裾分け隣同士睦まじく
おはようの笑顔で綴る両隣
五客 両隣気にせず生きる楽天家
隣り合う席が気になる披露宴
遠い日はいつも隣で色褪せず
隣との境を知らぬ竹と枝
秋更けてやはり隣が気にかかる
近隣に空き家が目立ち寒さ増す
地位 母のしわ隣で生きた私知る
人位 隣の風が隣近所に吹く平和
軸 お隣もそのお隣も老い独り
次回 「熟す」十二月末まで。「声」一月末日まで。
はがきに三句 白鷹町荒砥乙四二八一二 高橋 白兔 宛

畔藤 安藤よしゑ
鮎貝 高橋 正
浅立 梅津たつゑ
浅立 小形 義三
畔藤 菅原 敦子
十王 守谷 三郎
高岡 須貝 仲次
高岡 長岡みち子
滝野 安達 昭吾
畔藤 梅津 いと
横田尻 金田 れん
大瀬 五十公野春巳
十王 平 恒人
荒砥乙 土谷 灯一
山口 児玉 保子
荒砥甲 鈴木 みき
横須賀 大滝健次郎
佐野原 五十嵐とし
鮎貝 植木 英夫
佐野原 五十嵐あきよ
浅立 高橋 とみ
荒砥乙 大滝 栄子
高玉 高橋 朝子
貝生 保科 努
山口 渡部喜美子
山口 海老名きさち
滝野 遠藤 八重
世田谷 井澤美佐子
荒砥甲 梅津美千子
浅立 堀内 芳夫
畔藤 白兔